作成日：西暦 2026 年 8 月 20 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：新規精子選別法（マイクロ流体スパームセパレーターおよびヒアルロン酸結合選択法［PICSI］）の有効性および安全性に関する臨床研究

本研究はまるた ART クリニックの医学研究倫理審査委員会で審査され、院長の許可を得て実施しています。

１．研究の対象

2020 年 3 月～2028 年 3 月に当院で採卵し、顕微授精を実施された方

２．研究目的・方法・研究期間

1）研究目的

従来の精子処理方法である密度勾配遠心法は、遠心分離時の物理的ストレスや活性酸素種の発生により、精子の DNA 断片化を増加させる可能性が指摘されています。スパームセパレーターは遠心操作を排除したマイクロ流体技術により DNA 断片化の少ない精子の回収が可能です。また、PICSI は精子のヒアルロン酸への結合能により正常な成熟精子を選択することができます。本研究の目的は、顕微授精を施行した患者さんにおいて受精後の臨床成績を比較し、各精子選別法の有効性を明らかにすることです。治療成績の向上や患者さんの精液所見に応じた最適な治療方法の選択が可能になると期待されます。

2）研究方法

診療記録より、顕微授精を行った患者さんの精液所見、精子処理法、胚の培養結果、妊娠経過等を抽出します。精子処理法について、従来法、スパームセパレータ―、PICSI における正常受精率、胚盤胞到達率、臨床妊娠率および流産率を比較し、スパームセパレータ―および PICSI の有効性を検討します。

3）研究期間

倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療歴、出産歴、採卵時および胚移植時の診療情報、妊娠経過　等

４．外部への試料・情報の提供

外部機関への試料・情報の提供は行いません。

５．研究組織

研究責任者：まるた ART クリニック　副院長　　濱田　雄行

６．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

まるた ART クリニック

担当者：濱田　雄行

名古屋市千種区覚王山通 8-70-1 池下 ES ビル 2F・3F

電話：052-764-0010

７．利益相反

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。